

# カンボジア王国

国家・国王・宗教

## トゥールチャン小学校開校式報告書

トゥールチャン小学校開校式を迎え、寄贈者に心から感謝いたします。  
開校式は2010年11月11日、9:00～10:30、コンボンチャム州パティエイ郡チュバアンポー地区トゥールチャン村にある当小学校において、パティエイ郡副郡長、チュン・レット氏を主賓に行われました。

来賓10人、僧侶3人、生徒350人、教師15人、村人105人が参加し開校を祝いました。

### I. 式次第

1. 僧侶による開校式祝賀の祈り
2. 主な来賓の紹介
3. カンボジア・日本両国国歌斉唱
4. チャウ・ウーン氏祝辞：トゥールチャン小学校校長
5. 浦田富貴美祝辞：ASAC 調整員
6. 岡村晴雄氏祝辞：しょうがっこうをおくる会代表
7. チュン・レット氏祝辞：パティエイ郡副郡長
8. 生徒代表にノートとペンの贈呈、学校代表にトイレ清掃用備品と水タンクの贈呈
9. 学校簿への署名
10. テープカット、各教室を訪問し全生徒へ記念品の贈呈
11. 閉会、主賓退席

### II 主な来賓

1. チュン・レット氏：パティエイ郡副郡長
2. チア・リアン氏：パティエイ郡教育課副課長
3. 浦田富貴美：ASAC 調整員
4. 岡村晴雄氏：しょうがっこうをおくる会代表
5. パウ・サルーン女史：トゥールチャン地区地区長
6. ワン・ソック氏：トゥールチャン村村長
5. オック・ワイ氏：学校建設委員会委員長
7. サオ・サン氏：チュバアンポー地区副長
8. チャウ・ウーン氏：トゥールチャン小学校校長
9. パティエイ郡役人、地区および村の代表者

### III チャウ・ウーン氏祝辞：トゥールチャン小学校校長

初めに、来賓、日本からおいで頂きました寄贈者、そして出席している皆様に敬意を表します。本日は図書室、職員室の2部屋の新しい校舎が完成し開校式を迎え、心から嬉しく思います。トゥールチャン小学校、行政、僧侶、チュバアンポー地区、トゥールチャン村の住民を代表して、日本の寄贈者とASACに深く感謝いたします。図書室、職員室そして学校備品の寄贈を受け、教師、生徒、そして村民の要望に応じていただきました。村の子供たちは図書室で本を読み、分からない事を調べ、新しい知識、技術、技能を向上させる情報を得たいと願っています。

図書室はすべての人にとって知識の宝庫といえます。それは、社会やその他についての多くの情報を調べ、学ぶ事が出来るからです。子供たちは「やがて竹に育つ竹の子」です。人材の育成は国の発展にとってとても大切です。広い分野の教育を与える事で、子供たちは良き人、立派な社会人になります。次のような格言があります、「世の中は変化し発展しなければならぬ、そしてそれは子供の教育から始まる。」ですから、このような価値ある贈り物は子供たちが正に必要としている物です。子供たちは図書室で、知りたい事を調べ、自習し、スポーツについても学び、みなで一緒に遊ぶ事ができます。

この贈り物を長く使用できるように皆で大切に管理していくことを約束します。清掃を怠る事はありません。そして、図書室が生徒、住民に広く利用してもらえるように指導してまいります。私たちを支援していただいたことに対し、住民を代表して日本の寄贈者とASACに心からお礼申し上げます。式典参加者皆様に仏の5つの御加護（長寿、高尚、健康、力、知力）を祈念いたします。

### IV 浦田富貴美祝辞：ASAC 調整員

みなさん、「ASAC」という団体を知っていますか？クメール語では、「カンボジアに学校を贈る会」という意味になります。これから、私たちASACについてのお話をします。

ASACは、日本のNGO（団体）です。日本という国は、カンボジアから4400kmくらい離れたところにあります。飛行機で行くと、7時間くらいかかります。

1992年、カンボジアで選挙が行われることになったとき、岡村真理子さんという日本の一人の女性が、ボランティアとしてカンボジアにやってきました。選挙が無事に終わるよう、カンボジアの人と力を合わせ、とても一生懸命に頑張りました。そのため、真理子さんは、クメール語をとっても上手に話せるようになりました。

ボランティアの活動が終わった時に、岡村真理子さんは、カンボジアの人ととても仲良くなりました。そして、その仲良くなった人に、「カンボジアには、学校が足りない。子供たちが学校に行けるようにしたい。」との想いを聞きました。そして、ぜひ「カンボジアのすべての子どもたちが勉強できるようにしたい。」と思い、1994年にASACカンボジアに学校を贈る会を作りました。

ASACは、今回の皆さんの学校と同じように、1994年からこれまでに、カンボジアにたくさんの学校を建ててきました。

では、ここでクイズです。

Q、ASACはこれまでに、カンボジアで何校学校を建設してきたでしょうか？

約10校 約55校 約100校 約121校

A、答えは、      です。

ASACはこれまでに、121校建設しています。図書室の中に、これまでにASACが建ててきた学校の写真を貼っています。ぜひ、後でみてください。

ASAC は、学校を建てる他にも、やっていることがあります。それは、「識字教室」です。子供のころに学校に行けなかった大人の人が、文字を読んだり、書いたりできるようになるための教室を開いています。その教室では、毎晩2 時間ずつ勉強し、6 ヶ月間続けます。そこで勉強した人は、文字を書いたり、読んだり、計算したりできるようになり、とても喜んでくれています。

そして、もう一つ、ASACからぜひみなさんにお願ひがあります。それは、新しく建設された校舎を大切に使うしてほしいということです。校舎を大切にするためには、どうしたらよいでしょうか？

ここで、またクイズです。

Q、校舎を大切にするために大切なことは何でしょうか？

ゴミは、どこにでも捨てない。ゴミ箱に捨てる。 毎日、掃除をする。

壁や机に落書きをしない。 壊れたら、そのままにしないで、修理する。

A、答えは、 から の全てです。

その他にも、まだまだみなさんにできることはたくさんあると思います。

ぜひ、他にもどんなことができるか、学校の先生やお家の人と考えてみてください。

では、最後に日本語を話してみましょう！「オークン」は、日本語で「ありがとう」です。

では、みんなで言って見ましょう！「ありがとう」

今日は、日本から寄付して下さった「しょうがっこうをおくる会」の岡村さんが出席してくださって

います。岡村さんに、みなさんでお礼を言いましょう！「ありがとう」

## V 岡村晴雄氏祝辞：しょうがっこうをおくる会代表

皆さんこんにちは。私は「しょうがっこうをおくる会」の岡村晴雄です、日本から来ました。

会は校舎が不足している学校を世界中で支援しています。私たちは、全ての子供たちが学校に通い、学び、将来自分の夢を実現させて欲しいと願っています。この願いを実現する為、会は人々に不要になった本を寄付していただき、それらを売って資金を集め、世界で校舎を建設しています。トゥールチャン小学校もこのようにして集められた資金によって建設されました。これまで、ネパール、ケニア、フィリピン、エクアドルの国々で学校を建設し、本校が6 番目の寄贈です。

この6 つの国の子供たちも夢に向かってがんばっています。みなさんもしっかり勉強して自分の夢を実現させてください。一人でも多くの方が夢を叶えられるように願っています。

## VI. チュン・レット氏祝辞：パティエイ郡副郡長

出席者皆様に敬意を表します。本日はトゥールチャン小学校図書室棟の開校式を迎え、住民は心から嬉しく思っております。郡長、役人に代わり、日本の寄贈者とASAC に深く感謝いたします。日本はカンボジアの教育分野、他の分野の発展を常に支援してくれています。政府、そして様々な分野におけるNGOの支援は、地域での人材育成を向上させ、貧困を削減させています。パティエイ郡内におけるASAC の業績についてお話します。建設した校舎は12 棟、55 教室。そして、ぜひ別の地区でもさらに新たな校舎建設をお願いしたいと思います。

住民の皆さん、物事を正しく理解する事はとても大切です。子供に教育を受けさせることはとても重要な事です。子供たちが高い教育を受けられるように、皆で協力して下さい。現在、教育省は全ての子供が最低9 学年を修了する事、そして非識字者を減らす政策の基、教育分野

向上を目指しています。知識や技量があれば、人は日々の生活にうまく対処できます。例えば、衛生や健康について理解し、交通規則を知り守るなどして良き社会人になれます。

最後に出席者皆様のご健康と繁栄をお祈りし、皆様に仏の5つの御加護(長寿、高尚、健康、力、知力)を祈念いたします。

2011年1月5日  
ASAC プノンペン事務所  
学校建設事業アシスタント  
ル・ナレ

## VI 開校式の写真



僧侶による祝賀の祈り



来賓の方々



カンボジア・日本両国国歌斉唱





チャウ・ウン氏祝辞：  
トゥールチャン小学校校長



浦田富貴美祝辞：  
ASAC.調整



岡村晴雄氏祝辞：  
しょうがっこうをおくる会代表



チュン・レット氏祝辞：  
バティエイ郡副郡長



生徒代表にノート、ペンの贈呈、  
学校代表に水タンク、トイレ清掃備品の贈呈



テープカット



学校簿への署名.



教室で生徒にプレゼントの贈呈



図書室



教師との記念撮影



生徒と一緒に